

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第56号	氏名	横道 里江
学位審査委員	主査	久恒 邦博	
	副査	藤井 弘之	
	副査	林 善彦	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 歯冠補綴物を接着材を用いて歯質に接着する際、その歯質への表面処理の違いが、補綴物の維持力にどのような影響を与え、また、試作の表面改質材がどのような効果を与えるかを解析したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 歯冠補綴物の接着材であるレジン系セメントと歯質の接着強度を、歯質の表面処理の条件を変えて引張り接着試験を用いて解析し、またその試料表面の破壊様式を観察および解析が行われている。また、表面処理後の歯面表層の状態についても、走査型電子顕微鏡を用いて観察されており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記の手法で解析した結果は、他の市販の接着システムに比べ、セルフエッチングプライマーに微量の鉄イオンを利用した試作プライマーと、4META/MMA-TBB レジンの組み合わせが最も効果的であることを示唆したもので、歯科補綴臨床および接着歯学の進展に大きな意義を有する論文である。</p> <p>以上のように本論文は、歯質とレジンの接着強度を向上させることにより、歯冠補綴物装着後の2次カリエスや、補綴物の脱離を防ぎ、口腔機能の向上に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(歯学)の学位に値するものと判断した。</p>			